

発信！地域自慢⑦
下長地区

災害に強い地域づくり ~防災意識が高い地域を目指して~

閩市民連携推進課 ☎ 43・9182 FAX 47・1485

下長地区で行われている、災害に備えた活動について、下長地区連合町内会の中川原武会長にお話をうかがいました。



下長地区連合町内会
中川原会長

○自主防災組織の設立

平成18年3月に、自主防災組織である「しもなが安全安心ネットワーク」を設立し、同年10月には、消防庁の「地域安心安全ステーション整備モデル事業」の指定を受け、防災用品の整備を行いました。それ以来、避難所への避難や炊き出し、負傷者

の応急運搬などの防災訓練を継続しています。

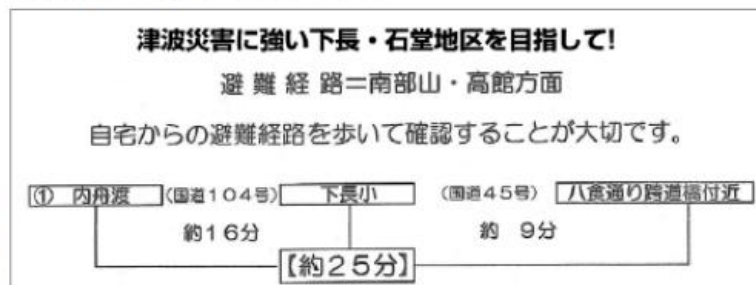
○津波に対する備え

東日本大震災の翌年に青森県から発表された津波浸水予測図で、下長地区が津波の浸水域に含まれていました。そこで、地区内の各所から避難先に適している高台まで避難した場合、徒歩で何分かかかるかを、実際に歩いて計測しました。その結果を、避難経路と避難にかかる時間として一覧表にまとめ、下長地区の各家庭や町内会に協力している企業・商店などに配布しました。

また、24年度の防災訓練として、この避難経路と津波浸水予測図を使い避難方法を確認する勉強会を行い

ました。さらに、今年度の防災訓練では、いざというときに素早く対応するため、この避難経路に従って、実際に避難する訓練を行う予定です。

作成した
避難経路
(一部抜粋)



○防災意識が高い地域へ

避難が困難な1人暮らしの高齢者世帯などへの支援や、避難所の運営など、災害時には地域の団結が必要になりますので、日頃からの隣近所の交流をさらに深めたいと考えています。また、定期的に避難経路の一覧表と、津波発生時の心得を配布することで、防災に対する意識づくりに努めています。

今後も、いざという時にはまず逃げる、自分の身を守るという意識が地域に浸透するよう、普及・啓発を続けていきたいと思ひます。